

令和 7 年 11 月 5 日

県内新設住宅着工戸数の令和 7 年度上半期の状況について

令和 7 年度上半期(4 月～9 月)の県内の新設住宅着工戸数は、前年度同期比 32.2%減の 1,866 戸となりました。その概要は次のとおりです。

令和 7 年度上半期の新設住宅着工戸数について

本県の令和 7 年度上半期の新設住宅着工戸数は、1,866 戸で、昨年度上半期の 2,752 戸に比べてマイナス 886 戸、32.2%減となりました。

利用関係別戸数の内訳みると、持家が 23.3%減の 1,007 戸、貸家が 37.9%減の 668 戸、分譲住宅が 47.0%減の 179 戸となりました。

また、建方別では、一戸建が 23.9%減の 1,178 戸、長屋建が 37.7%減の 321 戸、共同住宅が 46.7%減の 367 戸となりました。

(参考) 全国の令和 7 年度上半期の新設住宅着工戸数は 340,635 戸で、昨年度上半期の 412,190 戸に比べ減少しました。

関連資料

- ・ 県内新設住宅着工戸数の令和 7 年度上半期状況（概要）(PDF：99KB)
- ・ 県内新設住宅着工戸数の令和 7 年度上半期状況（表・グラフ）(PDF：118KB)